

## 富山にて昨年の成果を発表 – 2010 年度日本建築学会大会 –

### Participation in the convention of "Architectural Institute of Japan 2010"

text\_muramoto

9月9日から9月11日にかけて、富山大学において開催された2010年度日本建築学会大会に参加しました。総勢22名もの都市デザイン研究室・空間計画研究室メンバーおよびOB・OGが各々の研究成果や各プロジェクトの成果を発表しました。また、建築学会恒例の現地見学ツアーも行われました。

September 9 to 11, 22 people (lab.members and OB,OGs) participated in the convention of "Architectural Institute of Japan 2010" and did the presentation of their own research or PJ's activity.

#### 発表を終えて

M2 熊谷 俊一

当日は他大学の学生・先生方が聴衆という、普段の研究室会議やジュリーとはまた違う緊張感の中、M2 黒川・熊谷の両名で昨年度の高山PJの集落調査・分析を主とした発表をさせていただきました。「これからの集落運営に向けた行動実施に期待したい」という、今後のPJのビジョンとつながる意見を頂戴でき、調査から行動へと昇華するモチベーションを大いに掻き立てられる貴重な時間となりました。

#### 富山見学ツアー

M2 黒川 佑人

今年度も恒例?の研究室メンバーによる「まちあるき (LRTも乗りつつ)」を行いました!行程は、富山市の市街地を中心に、富山国際会議場(楨文彦設計)、芝園小中学校(工藤和美設計)、富岩運河環水公園(仙田満設計)を見てまわりました。

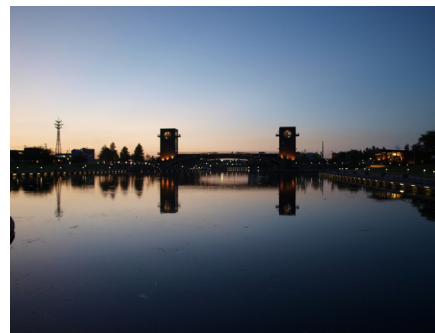
芝園小中学校では、校長先生に内部を案内して頂いたため(生徒もいたためか)、空間の使い方を肌で感じ取ることができました。来年も是非、企画されることを願っています。



▲「観光」セッション発表の様子



▲芝園小中学校を見学後、校長先生と記念撮影



▲夕暮れの富岩運河環水公園

#### 発表者一覧 (敬称略)

日程	発表者	題目
9/9	田中 大朗	地方中核都市におけるアーバンデザインセンターの起動—都山アーバンデザインセンター (UDCKo)・コンペティションの実施—
	中島 伸	まちづくりルール策定の取り組みの変遷と現況—神楽坂における動態的都市保全 その1
	鈴木 智香子	まちづくりルール策定に向けたワークショップの実践と課題—神楽坂における動態的都市保全 その2
	江口 久美	古きバリ委員会による戦前の歴史的記念物指定の推進に関し—ロアン館に関する議論と成果について—
	川崎 泰之	一般市街地における親水空間沿線の景観形成と整備に関する研究—東京都江戸川区を事例として—
	楊 惠亘	台北市文化局による創造的空間創出・運用政策について
	黒川 佑人	地方都市における歴史文化の総合的把握・評価に関する研究 その1 市町村合併後の岐阜県高山市丹生川町北方・法力集落を事例として
	熊谷 俊一	地方都市における歴史文化の総合的把握・評価に関する研究 その2 市町村合併後の岐阜県高山市・高根地域日和田集落を事例として
9/10	矢吹 剣一	東京都区部の超高層建築物における最上階空間の利用形態に関する研究
	福角 朋香	地方小都市における地域資源の活用に関する調査 福島県田村市大越地域のまちづくり
	神原 康介	神楽坂における商業店舗の移り変わりに関する研究 その1 昭和27年から平成20年までの店舗の変遷について
9/11	松井 大輔	神楽坂における商業店舗の移り変わりに関する研究 その2 「神楽坂らしさ」の分布と景観形成上の課題について
	阿部 正隆	社会実験を通じた観光まちづくり活動の可能性—広島県福山市鞆地区「ヨルトモ」を通じて—
	バンノイ ナッタボン	観光客の回遊性を促進する要素に関する分析—歴史的町並み・佐原における回遊性向上に関する研究 その1
	鈴木 亮平	観光客の回遊性と住民のまちづくり意識の向上を目的とした社会実験—歴史的町並み地区・佐原における回遊性向上に関する研究 その2
	櫻庭 敬子	段階的回遊戦略と回遊性サイン計画—歴史的町並み・佐原における回遊性向上に関する研究 その3
	西川 亮	欧州評議会による「文化の道」に関する研究
	傅 舒蘭	中国の杭州における都市形態変遷と景観形成に関する研究
	阿部 大輔	イルデフォン・セルダによる拡張地区形成概念の伝播 その1 バルセロナ拡張計画の影響 (1860年代) について
9/11	永瀬 節治	越後鉄道による地方参詣地・弥彦の新市街と遊園計画をめぐる試論—大正5年の弥彦支線開業日の新聞記事から—
	王 新衛	日本統治時代の近代化産業遺産群と都市拡大の関係性に関する研究—台北市における縦貫鉄道沿線の鉄道および専売工場群を対象として—
	李 璠	Current Renovation Mechanism of Historical Urban Area in Beijing Preliminary Study of the Renovation of Dashilan Area

# 小林洋平さん、まちづくり大学院修了！

## Mr.Kobayashi graduated from Machidukuri Graduate School.

まちづくり大学院の小林洋平さんが前々号 (Vol.129) でお伝え致しましたように7月31日(金)の修士論文発表に臨み、9月27日(月)の学位授与式において修了されました。職務と両立しての修士号取得の労を讃えるとともに、今後の益々のご活躍を願っております！以下、小林さんのコメントです。



▲修論発表に臨む小林さん

私の修論は、新宿副都心を対象として、その計画の経緯と評価に関する研究です。強固な既存ストックを抱える西新宿が社会環境の変化に対応すべく、将来に向けた再計画のあるべき視点について、経緯と評価から知見を得たいと考えました。

計画評価は大変難しい課題でしたが、西新宿が数多くの経緯の積み重ねによって現在に

至っていることを知ることができました。

現職においても、西新宿の再生案件に携わっており、今後研究の成果を生かしていきたいと考えています。西村先生、窪田先生、諸先生方には大変お世話になりました。研究室会議でのご指導と議論は、大変幸せな時間であり、自分にとっての生涯の宝となりました。心より感謝申し上げます。

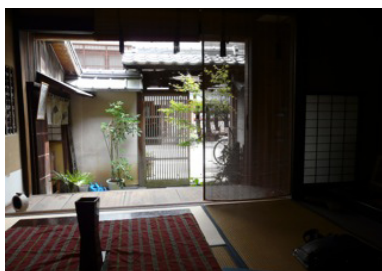
## プロジェクト報告

### 現地調査、続々！

PJ's members are into field works!

秋の訪れに反し、各PJは真夏のように熱く精力的に活動しています。今回は現地調査・WSを行った中部地方の2PJです！

### 足助 ASUKE-project プロジェクト



▲普段から座敷を公開しているお菓子屋さん

9月14日から15日にかけて足助を訪問してきました。地元の方々からなる「まちづくり部会」の会議に参加し、11月13日から14日にかけて行う観光社会実験についての話し合いを行いました。

足助プロジェクトでは2年前にも社会実験を行いました。今回は町の皆様にもご協力

text\_maekawa

いただき、土間や中庭など普段なかなか見られない足助の魅力を発信していく実験を目指しています。

これからの時期、足助のまちはお祭りやその他のイベントにと大忙しですが、東大足助PJチームも残り2ヶ月、社会実験成功のために目下奮闘中です。

### 高山 TAKAYAMA-project プロジェクト



▲民家調査の様子

9月22日から25日にかけて水路班と民家班に分かれてフィールド調査を行いました。肌寒く、大雨が降りしきる中、水路班は水路網を悉皆的に把握すべく、集落中を歩き回りました。民家班は古民家の間取りを記録し、立面図作成のための実測調査を行いました。

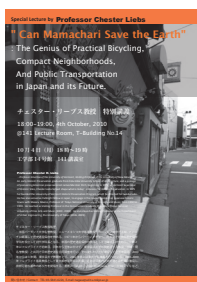
24日には、2本立てのWSを行い、第1部では年配の地元住民の方々に、第2部では若手の地元住民の方々に集まって頂き、前回

M1 高見 亮介

調査で発掘した集落資源の確認や今後何を残し、維持していくのか、またその方法について話し合いました。

前日の出発ぎりぎりまで不眠で調査準備に追われていましたが、その甲斐あって充実した現地調査となりました。「鉄は熱いうちに打て」との野原先生の言葉を胸に、次のステップを睨みつつ、今回の調査成果をきっちりまとめていきたいです。

## Information



### チェスター・リーブス先生 特別講義 "Can Mamachari Save the Earth"

日時：2010年10月4日(月) 18:00～  
場所：工学部14号館141講義室

#### 9月・10月の予定

9月30日	田村PJ現地報告会
10月5～9日	鹿児島PJ現地調査
10月6～7日	足助PJ現地調査
10月8日	2010年度第8回研究室会議@205講義室
10月11日	佐原PJ現地報告会

### 編集後記

村本 健造

先週、「ヨルトモ」のお手伝いも兼ねて鞆に行ってきました。他PJの活動に関わるのは新鮮で、ワークショップの運営の仕方など今後自分のPJの参考になりそうなことも吸収できとても良い経験となりました。…というわけで発行が間に合いませんでした。言い訳はしません(笑)10月も台湾WSに行ったり研究室旅行があったりとなかなか忙しい日々になりそうですが、しっかり自分の将来とPJの将来を見据えてやるべきことをやって、限られた時間の中で自分が満足できるまで突き進んでいきたいと思えます！